

主題構成表

主題名 礼儀 (6年組) 資料名「待合室で出会った少女」

<p>資料の分析</p> <ul style="list-style-type: none">・歯医者に駆けつけた「わたし」は、人の履物を足でよけながら、靴を脱ぎ捨てる。その後、丁寧に履物を揃える少女を見て、「わたし」は心を打たれ、お礼を言うとともに、自分を反省する。・「わたし」と少女の行為を対比させ、何気ない行為のなかに、人を思いやる心や人柄が表れることに気付かせたい。・少女の言葉を聞いて自分を振り返る「わたし」の心を考えさせ、ねらいとする価値に迫りたい。	<p>内容項目 2-(1)</p> <p>時と場をわきまえて、礼儀正しく真心をもって接する。</p>	<p>価値の分析</p> <ul style="list-style-type: none">・礼儀作法とは、相手を尊重して思いやる気持ちや感謝の念などを、心と体で表現するものである。よりよい人間関係を築くうえで、礼儀正しい振る舞いは極めて大切であり、時と場に応じた適切な行為が必要だということをおさえない。・日常の何気ない行為の中にその人の人柄が表れていることに気付かせ、素直な心で礼儀正しい行動ができるようにしたい。
<p>児童の実態</p> <ul style="list-style-type: none">・昨年度は児童会活動のあいさつ運動に取り組み、あいさつの輪を広げることができた。・仲間の気持ちを思いやった言動をとろうとする子が多いが、自己中心的な考えから言い合いになることがある。・お礼を笑顔で言うなど礼儀を身に付けている子もいるが、恥ずかしさや面倒な気持ちから実行に移すことができない子が多い。 <p>意識の要因</p> <ul style="list-style-type: none">・「恥ずかしい」「面倒だ」などの気持ちが先に立ってしまい、礼儀の正しさを形として表すことができないでいる。		

ねらい

心のこもった礼儀を大切にし、時と場をわきまえて礼儀正しい生活をしようとする態度を養う。

展開の構想

- ・「礼儀」という言葉を普段の生活の中で意識させておく。
- ・日頃の生活の観察に基づいて、多様な思いが出るようにする。
- ・登場人物の「わたし」に託して語らせ、本音が出せるようにする。
- ・「ああ、そんなこと・・・」という少女の言葉から、何気ない行為の中にも、礼儀作法が表れていることに気付かせる。
- ・終末では、児童の日常生活から例を取り上げ、身近な礼儀を意識させる。

基本発問(中心発問)

「わたし」は、どんな気持ちで歯科医院の上がり口を通ったのでしょうか。

履物を揃える少女を見て、「わたし」はどう思ったでしょう。

「わたし」は「ああ、そんなこと・・・」と言った少女の言葉を聞いて、どんなことを考えたのでしょうか。

心をこめて礼儀正しくしたことがありますか。